

巻頭
Photo

高尾山のいきものたち

ミヤマカワトンボ

(カワトンボ科)



溪流の中でメタリックグリーンがキラリと光る。ミヤマカワトンボは、澄んだ水が流れる水辺をゆらゆらと飛び、岩の上などに止まり、光沢のある青緑色を輝かせる。青緑色はオスの腹部で、メスは褐色。7cm程の大きさで、翅は半透明の褐色。

5~9月頃、山間の樹林に囲まれた溪流で見られ、卵を産む。卵の期間は約2週間、その後幼虫になり2~3年を過ごし成虫になる。成虫の主な餌は小型の昆虫。オスは縄張りを持ち、やってきたメスに求愛行動をする。メスは、1時間以上も水中に潜ることができ、水面下の水生植物に産卵する。高尾の沢でもこの雅やかなトンボが棲んでいる。それは森から流れる清らかな溪流が残っているからだろう。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

この季節に見ることができる花たちを紹介します



ヒトリシズカ



サイハイラン



フタリシズカ



ハンショウツル



ワニグチソウ



ウツギ



コゴメウツギ



マユミ



ジャケツイバラ

新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントが中止になる場合がございます。ご了承ください。

編集後記

自粛期間が終わったら、高尾山へ来て若い実を探してみたいかと思うか。花と葉また違った楽しみがあります。その際には当センターにもお立ち寄りください。

コクサギの実



Forest通信 NO.375

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

